

Since 2004

第32回井上春成賞受賞  
第57回工業技術賞受賞

柔軟性UP

100<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

有機の信頼性

無機の耐久性



JQA-2631 (本社工場)  
JQA-EM3548 (本社工場)

ナノコンポジットW  
nano composite W

↑  
1,000,000mm以上



MIZUTANI  
NANOTECHNOLOGY



# 信頼の出荷実績！ 約130,000戸

ナノコンポジットWは2004年に発売し、  
商業施設、店舗、飲食店、マンションや戸建住宅など  
様々な物件にお使いいただいております。

2004年から2021年までの出荷量を、戸建住宅塗装で換算すると  
ナノコンポジットのシリーズ累計は約130,000戸に相当します。

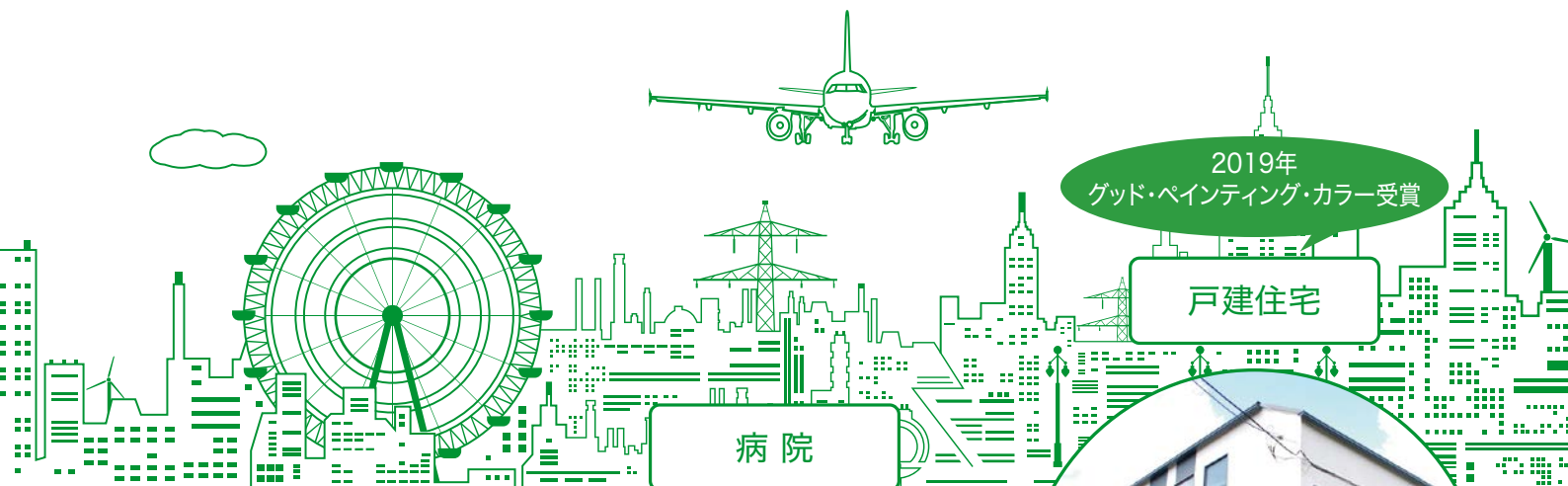


# 採用の決め手!

超低汚染  
でキレイが  
長持ち!

優れた  
耐候性  
を実現!

仕上がり  
3分艶で  
落ち着いた  
質感!



2019年  
グッド・ペインティング・カラー受賞

戸建住宅

病院

マンション

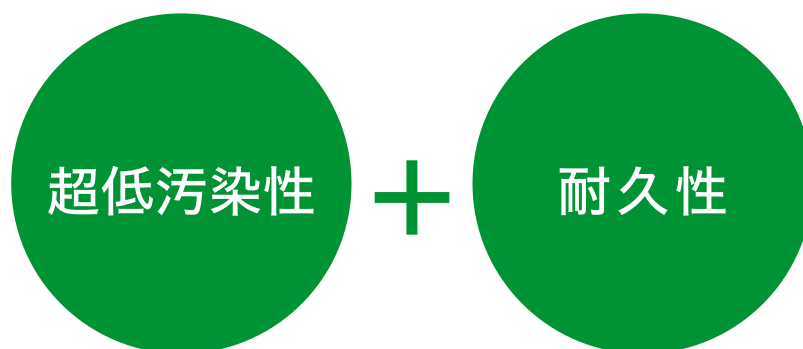


鉄道駅

ナノテクノロジーを駆使した  
ニュータイプの無機系塗料。

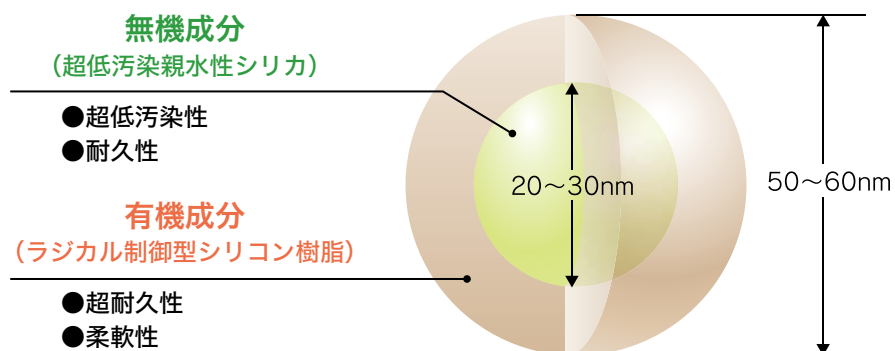


コンポジット  
無機成分と有機成分をナノレベルで**複合**し、  
超低汚染性と耐久性を両立した無機系塗料!



### ナノコンポジットW樹脂モデル

ナノテクノロジーで無機成分を有機成分で包み  
超低汚染性と耐久性の両立を可能にしました。



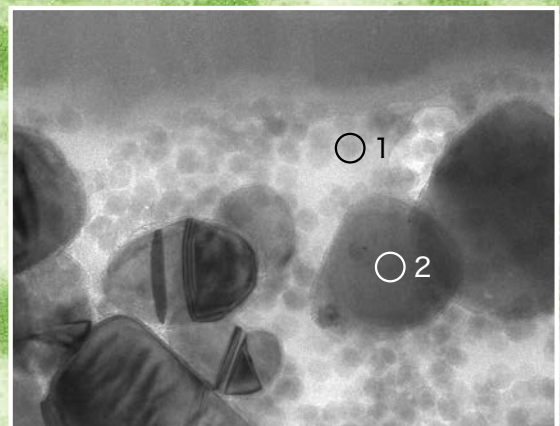
有機成分で無機成分を包むことによって樹脂同士がより密に密着し、  
強靱な塗膜を形成することに成功。さらに、無機成分に親水性で汚れ  
にくいという特長を持つシリカを採用することで、超低汚染性と優れた  
耐久性を発揮します。

塗料が変わる、世界が変わる  
超微粒子の世界、ナノテクノロジー。

# technology

## nano composite W

ナノコンポジットWの塗膜断面図



1: シリカ  
2: 顔料

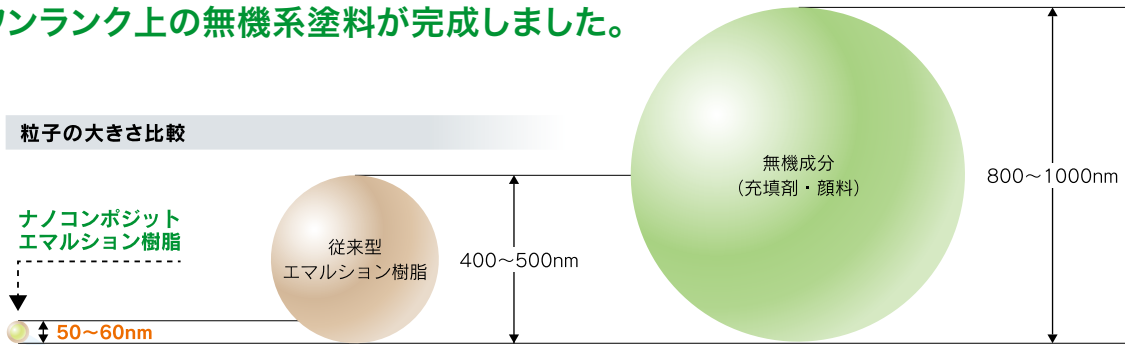
100nm

100nm

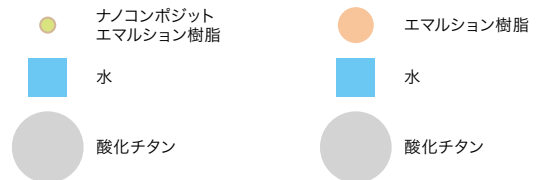
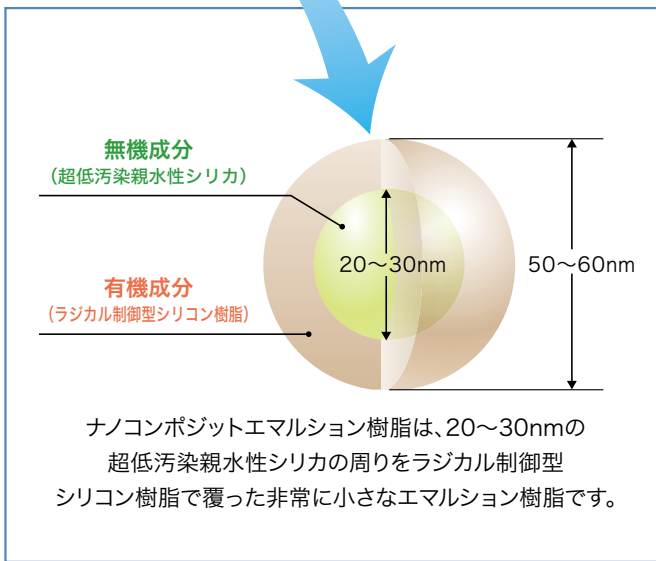
ナノコンポジットエマルジョン樹脂  
電子顕微鏡写真

# ナノテクノロジーで 無機と有機の性能を最大限まで引き出す。

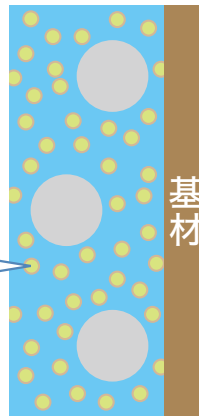
塗膜中に超微粒子シリカをナノレベルで  
緻密かつ均一に分散させることで、  
ワンランク上の無機系塗料が完成しました。



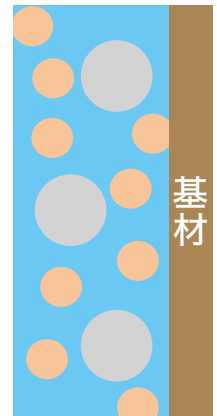
## ナノコンポジット エマルジョン樹脂 について



ナノコンポジットW

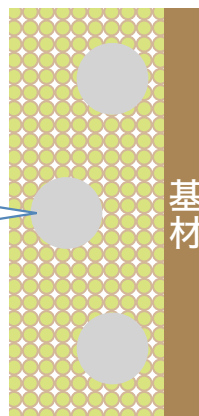
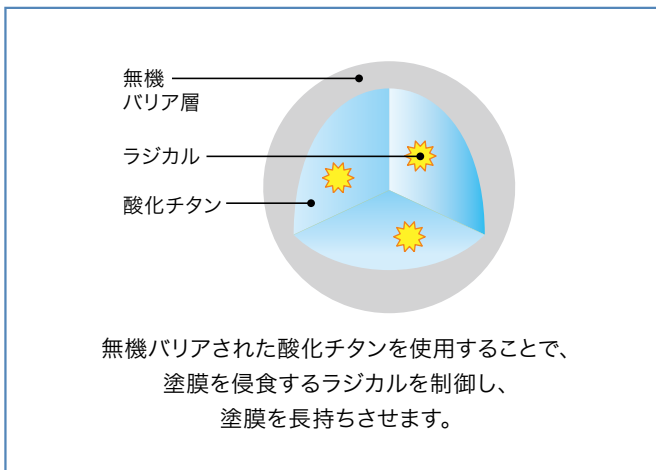


従来の水系塗料

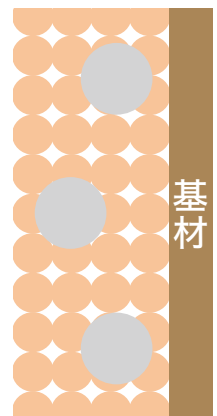


乾燥

## ラジカル制御型 酸化チタンについて



**超微粒子シリカが  
緻密な塗膜を形成、  
高性能を発揮!**



樹脂が大きいため、  
密な塗膜を形成できない。

# 6つの機能



## 超低汚染性 キレイが長持ち

ナノコンポジットWは  
セルフクリーニング機能により  
汚れの付着を防ぎます。

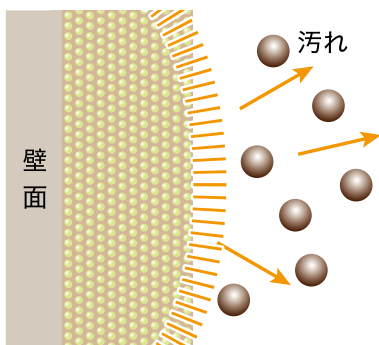


塗装前

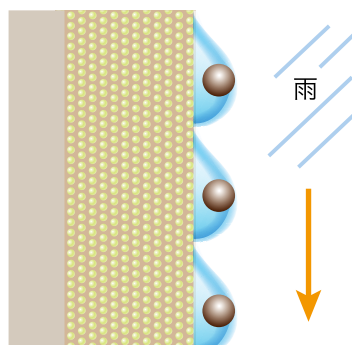


塗装後5年経過

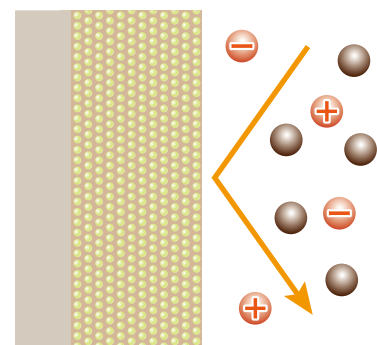
### セルフクリーニング 機能のメカニズム



緻密に分散したシリカ粒子が  
汚れの侵入をブロック!



親水性の塗膜が  
降雨により汚れを洗い流す!



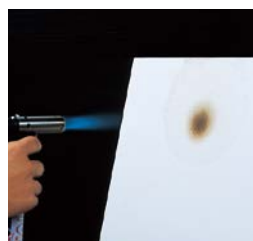
シリカ粒子が静電気の  
帯電を防ぎ汚れの付着を防止!

■:樹脂 ●:シリカ

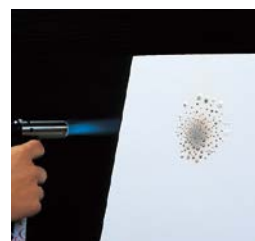
## 防火認定材料

ナノコンポジットWの塗膜は  
燃えにくく、防火認定材料として  
認定されています。

NM-8585/不燃材料 QM-9816/準不燃材料 RM-9364/難燃材料



溶剤型塗料



エマルジョン塗料



ナノコンポジットW



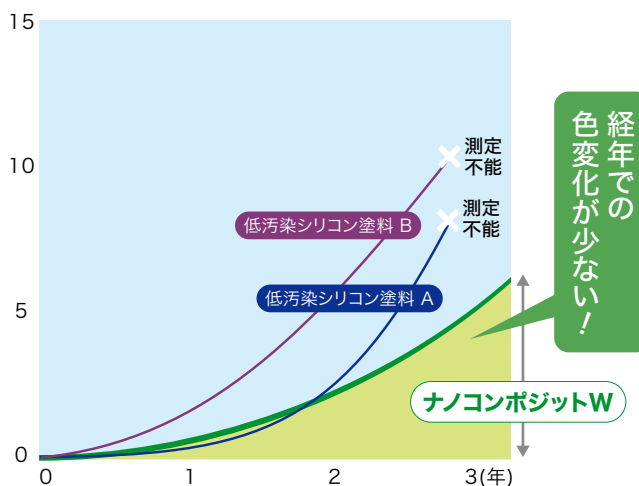
# 耐久性

ラジカル制御型樹脂による  
ナノレベルでの  
無機有機コンポジットが  
優れた耐久性を発揮。



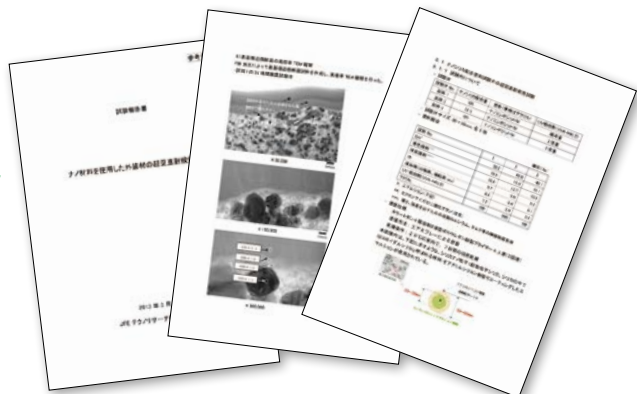
西表島暴露試験場

色差 ( $\Delta E$ )



経年での  
色変化が少ない！

経済産業省から、  
フッ素並みの  
耐久性能があると  
証明されました。



当社ホームページより閲覧可能です  
<http://www.toso-nano.com/20130329.pdf>

# 一液常温架橋による強靱な塗膜

ナノテクノロジーによる全く新しい架橋システムです。

## 速乾性

無機成分が均一かつ緻密に分散されていますので、従来の水系塗料では不可能であった速乾性を実現しました。

## 防カビ・防藻性

長時間にわたりカビを寄せ付けません。もちろん藻に対しても優れた効果を発揮します。



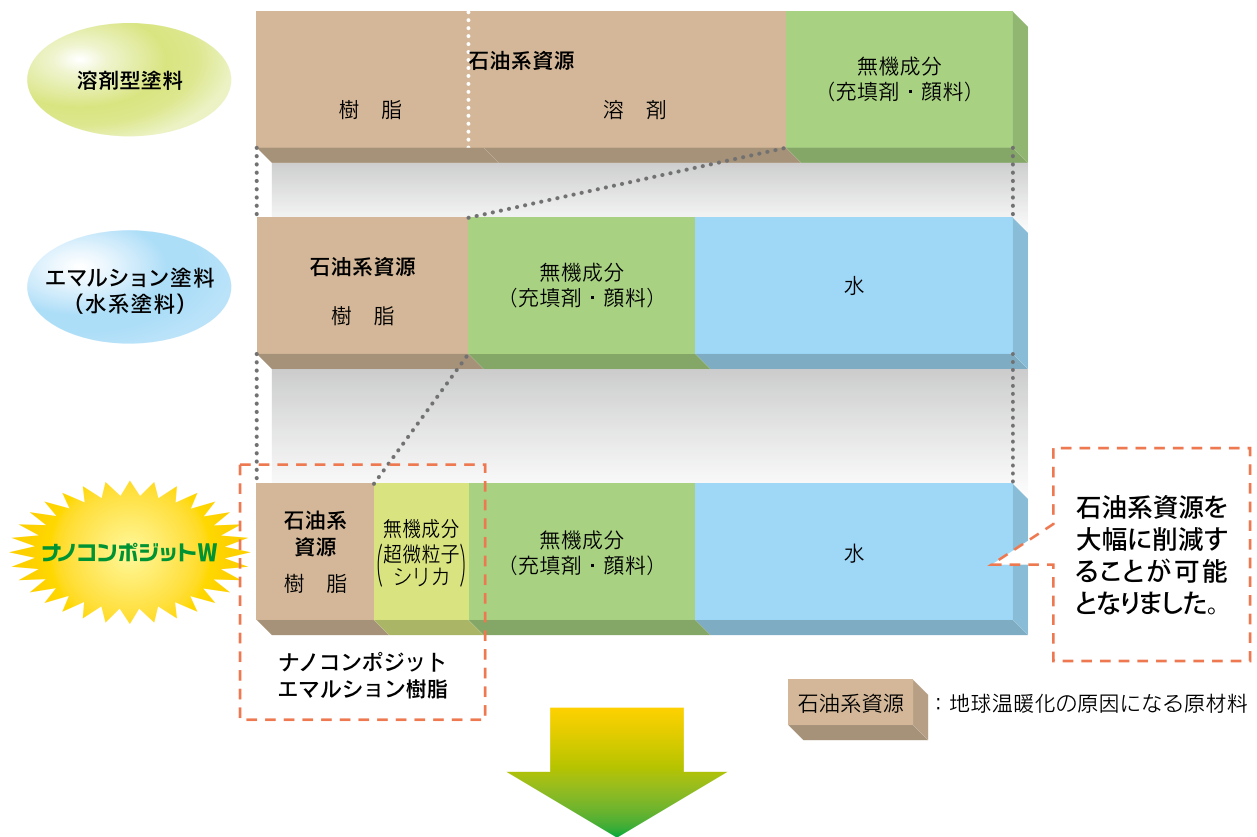
ナノコンポジットW  
nano composite W

1  
1,000,000 mmφのEPO

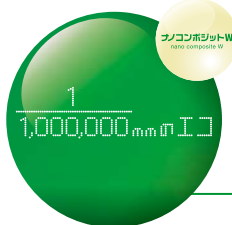
# ナノコンポジットWは 地球温暖化対策壁用塗料です。

樹脂は塗料にとって必要不可欠な原材料ですが、その原料（モノマー）を製造する原油精製という工程や焼却によって廃棄する工程において、**多量のCO<sub>2</sub>（温室効果ガス）を発生させます。**ナノコンポジットWはこの樹脂の量を大幅に低減させた **ナノコンポジットエマルジョン樹脂** を使用することにより、地球温暖化対策を可能にしました。

塗料の内容物比較



石油系資源の使用量を大幅に削減することにより  
**地球温暖化対策**が可能になりました。



# ナノコンポジットエマルジョンの研究成果

## 塗料分野で初の「井上春成賞」と「工業技術賞」を受賞!

ダブル受賞  
第32回  
井上春成賞  
第57回  
工業技術賞



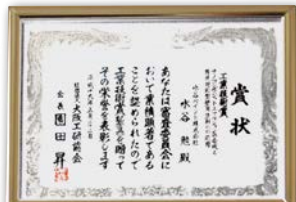
塗料分野で  
初受賞  
井上春成賞



建築用塗料  
で初受賞  
工業技術賞



井上春成賞とは、大学・研究機関などの  
独創的な研究成果を企業が開発した技  
術で、わが国の科学技術・経済の発展に  
寄与し、福祉の向上に貢献したものが表  
彰されます。水谷ペイントはナノコンポジ  
ットエマルジョン樹脂によって、井上春  
成賞を塗料分野で初受賞しました。



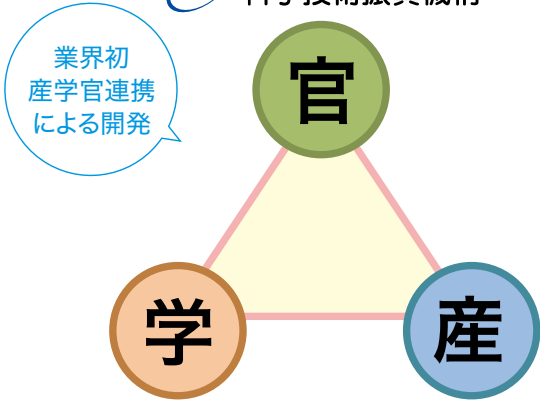
工業に関する研究発明(工業化に寄  
与したものあるいは将来寄与する  
もの)ならびに現場技術の進歩改善  
に功績のあったものに表彰されます。

## 産学官連携による開発で共同特許を取得!

- 科学技術振興機構との取り組み
- 平成10年  
独創的研究成果育成事業採択
  - 平成15年  
研究成果最適移転事業採択
  - 平成19年  
特許成立 (特許第3806417号)  
(特許第4046451号)

ナノコンポジットエマルジョン樹脂は水谷ペ  
イント、科学技術振興機構、京都工芸繊維大学  
の産学官により共同開発されました。

国立研究開発法人  
科学技術振興機構



経済産業省  
からの報告  
安全性の証明

「第6回国際ナノテクノロジー  
労働環境衛生シンポジウム」で  
安全性が報告されました。



ナノマテリアルの危険性が懸  
念されたため、経済産業省  
がナノコンポジットWについ  
て安全性を調査したところ、  
問題がないことが証明され  
ました。資料が必要な場合  
は、お問い合わせください。



## 1. 新規塗装・改修塗装(コンクリート・モルタル素地)

### ●テクスチャーをつける場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下(デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	ナノコンポジットシーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	-	2h以上	-
下地調整材	ナノコンポジットフィラーN 16kg	1~4% (希釈水)	マスチックローラー	0.8~1.2	1	13~20	-	16h以上	-
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※エフロッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」を塗装してください。

### ●テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ホコリ、油脂類は除去し、水分率5%以下(デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。								
下塗り	ナノコンポジットシーラーⅡ 15kg	既調合	ハケ・ローラー	0.1~0.2	1	75~150	-	2h以上	-
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※エフロッセンスの発生が懸念される場合は、下塗りに「2液マイルドウォールシーラー」または「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。

※上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠れ不足となる可能性があるため、下塗りは「ナノコンポジットシーラーⅡ 白」をご使用ください。

## 2. 改修塗装(複層仕上塗材、薄付け仕上塗材)

### ●テクスチャーをつける場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下地調整材	ナノコンポジットフィラーN 16kg	1~4% (希釈水)	マスチックローラー	0.8~1.2	1	13~20	-	16h以上	-
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※旧塗膜の劣化が著しい場合は、下塗りに「ナノコンポジットシーラーⅡ」をご使用ください。

### ●テクスチャーをつけない場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	3~5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2~0.5	1	32~80	-	3h以上	-
		4~6% (希釈水)	エアレス	0.3~0.5		32~53			
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」のかわりに「ナノコンポジットシーラーⅡ」も使用可能です。ただし、リシンには不適ですので、「リフレッシュサフェーサーエポ」を推奨します。

※「ナノコンポジットシーラーⅡ」を使用する場合、上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠れ不足となる可能性があるため、下塗りは「ナノコンポジットシーラーⅡ 白」をご使用ください。

### 3. 改修塗装 (窯業系サイディングボード) ※テクスチャーは変えられません。

#### ●旧塗膜の劣化が著しい場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下地調整材	リフレッシュサフェーサーエポ 16kg	3~5% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.2~0.5	1	32~80	-	3h以上	-
		4~6% (希釈水)	エアレス	0.3~0.5					
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※光触媒・無機・フッ素系ものがコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。

※旧塗膜の劣化が軽度な場合は、「リフレッシュサフェーサーエポ」のかわりに「ナノコンポジット シーラーⅡ」も使用可能です。

※「ナノコンポジット シーラーⅡ」を使用する場合で、上塗りの色と下地の色の差が大きい場合は、隠れ不足となる可能性があるため、下塗りは「ナノコンポジット シーラーⅡ 白」をご使用ください。

### 4. 改修塗装 (金属系サイディングボード)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。								
下塗り	水系ハイエポ 主剤 9kg 硬化剤 6kg	5~7% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.16~0.18	1	83~94	-	16h以上 7日以内	-
上塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 15kg	4~8% (希釈水)	ハケ・ローラー	0.12~0.18	2	42~63	2h以上	-	24h以上

※光触媒・無機・フッ素系ものがコーティングされた基材や経年劣化していない基材には付着しない場合がありますので、付着性を確認の上、施工してください。

※別途「エポックマイルド#2000N」も使用可能です。

※上塗りの色によっては3回塗装が必要な場合があります。

### 5. その他の下塗り材

#### ●エフロレッセンスの発生が懸念される場合 (2液マイルドウォールシーラーは溶剤系の塗料となります。)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	2液マイルドウォールシーラー	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1	73~110	-	5h以上 7日以内	-

※シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。

#### ●難付着性サイディングボードの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
下塗り	高密着シーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1	73~110	-	5h以上 7日以内	-

※光触媒サイディングの場合、上塗り塗料は必ず規定量を塗付していただき、塗りむらや透けないようにお願いいたします。

#### ●天端用保護クリヤーの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶(セット))	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	天端部に施工したナノコンポジットWの塗膜を清浄な面にする。								
下塗り	<b>ナノコンポジットW</b> 天端用保護クリヤー 15kg	-	ハケ・ローラー	0.08~0.12	2	63~94	1h以上	-	24h以上

※天端用保護クリヤーはナノコンポジットエマルジョンではありません。したがって汚染性能には差が生じます。



天端用保護クリヤーは  
**ナノコンポジットW**を施工した  
このような場所に塗装してください。

#### 〈塗装仕様上の注意事項〉

- ※雨水が集中して流れる箇所は(躯体を保護するために)、あらかじめ「ナノコンポジット シーラーⅡ」でタッチアップしてください。
- ※軒天、上裏など水廻りが予想される場所にはナノコンポジットフィラーNを塗装しないでください。クラック、剥離の原因となりますのでシーラー+上塗り(2回塗り)で仕上げてください。
- ※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
- ※下地のテクスチャーパターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。
- ※シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。
- ※旧塗膜が弾性塗料で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。

# 汚れにくい機能(超低汚染性)を最大限に発揮するために。

ナノコンポジットWは、親水性の塗膜でセルフクリーニング機能が発揮されます。しかし、汚れが集中する部位や雨が当たらない環境下では、「汚れにくい」機能が低下したり、発揮するのに時間を要したりする場合があります。また、無機質の汚れに対してはセルフクリーニング機能は期待できません。

## 汚れの種類

**有機質(親油性)の汚れ** 自動車排気ガスに含まれる油成分の汚れなど

**無機質(親水性)の汚れ** さび、黄砂、エフロレッセンス、土砂などの汚れ

## 汚染が予想される箇所の例とその対策

### 鉄部(パイプ)などさびの発生が危惧される壁面

写真は塗装前です。



(現象)

壁面に樋の取り付け金具などがある場合、そのさびにより汚染されます。

(対策)

さびの発生が起こらないよう、既存のさびを取り除き、適切な防錆塗装で防錆処理を行います。

### シーリング材の可塑剤移行による汚染

写真は塗装前です。



(現象)

クラックの補修やサイディングボードの継ぎ目などにシーリング材を充填します。このシーリング材の上にナノコンポジットWを直接塗装した場合、シーリング材の可塑剤が移行して塗膜表面を軟化させ汚れを付着させます。

(対策)

まずシーリング材を確認してください。可塑剤が移行しにくいタイプがあります。詳しくは弊社営業担当にご相談ください。

### カビ・藻による汚染

写真は塗装前です。



(現象)

塗り替えの場合、旧塗膜にカビ・藻が残っていて充分除去せずに塗装した場合、塗装後早い段階でカビ・藻が発生します。

(対策)

旧塗膜にカビ・藻が残らないように高圧水洗、デッキブラシ等で充分に除去してください。次亜塩素酸ソーダにより完全に除去するとより効果的です。(使用する場合は土壌汚染にご注意ください。)

### パラペット部の汚染

写真は塗装前です。



(現象)

陸屋根(屋上)になっている建物で壁面との境目にあるパラペット部では、特に汚れが集中します。

(対策)

建物の内側に雨水が流れるようにパラペットの形状を内側に傾斜させるか、水切りを設置します。

### 斜壁(セットバック)

写真は塗装前です。



(現象)

集合住宅などの階段屋根部分が斜めの壁になっているところでは、それにつながる壁面に汚れが集中します。

(対策)

斜面の端部に水切りを設置し、斜壁を流れてきた汚水が壁面に流れないようにします。

### ・上部塗装膜の劣化したチョーキング粉が 付着した場合、白筋となることがあります。

上記の他、樹木が建物に隣接している場合、雨が当たりにくくばかりでなく、葉や樹の汁や花粉などが付着したり、虫が巣を作ったり、鳥の糞尿などにより特殊な汚れが付着し除去しにくくなります。

また、立地条件(環境条件)、建築物の形により汚れが集中しセルフクリーニング機能がうまく発揮しないことがあります。汚れが集中することが予想される場合は、水切りを設けるなど対策をおすすめします。

## 用途

1. 新規塗装・改修塗装(コンクリート・モルタル素地)
2. 改修塗装(複層仕上塗材、薄付け仕上塗材)
3. 改修塗装(窯業系サイディングボード)
4. 改修塗装(金属系サイディングボード)

## 荷姿

- ナノコンボジットW …… 15kg
- ナノコンボジットシーラーⅡ(クリヤー、白) …… 15kg
- リフレッシュサフェーサーエポ …… 16kg
- ナノコンボジットフィラーN …… 16kg
- 2液マイルドウォールシーラー …… 11kgセット(主剤10kg 硬化剤1kg)
- 水系ハイエポ …… 15kgセット(主剤9kg 硬化剤6kg)  
5kgセット(主剤3kg 硬化剤2kg)
- ナノコンボジットW 天端用保護クリヤー …… 15kg



## 注意事項

### 【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
4. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
5. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
6. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起こりますのでご注意ください。
7. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
8. 斜壁やバラベットの天端に塗装を行なった塗膜は壁面と比較して耐久性に差が生じることがあります。
9. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なるために若干の色差異がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
10. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
11. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
12. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
13. 爆裂したような著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けてください。
14. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
15. 目地部に塗料がたまった場合や、タレが発生した場合はむら切りしてください。
16. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
17. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
18. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
19. 濃色目になると、ローラー塗装時に塗り継ぎ箇所できずらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
20. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
21. シーリング材への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
22. 塗膜の膨れ、剥離、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
23. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
24. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
25. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
26. パテを使用する際は外部用パテをご使用ください。
27. 旧塗膜が弾性素材の場合は施工を避けてください。
28. スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。
29. 旧塗膜が単層弾性で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。
30. 躯体のクラック等によりエフロレッセンスが発生する可能性がある場合は下塗りにリフレッシュサフェーサーエポまたは2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。
31. 斜壁には屋根用塗料を塗装してください。
32. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものをご使用ください。
33. 排水溝には捨てないでください。
34. 低温、高湿度時は乾燥が遅くなる場合がありますので、塗装後1～2日は、粉じんなどの汚染物質の付着にご注意ください。
35. 塗装乾燥過程で降雨にあった場合、雨水の集中する部位において、汚れが付着することがあります。適切な養生を行うなどして直接雨が当たらないような処置をお願いします。
36. 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
37. 濃色や原色に近い色は、塗膜に触ると色落ちや白い擦過痕が残る場合があります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
38. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
39. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
40. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【塗料に関する注意】

1. 出荷後出来るだけ早い時期にご使用ください。
2. 使用前には充分攪拌してください。
3. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
4. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
5. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
6. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



## 水谷ペイント株式会社

本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ **06-6391-3039**

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店